

グルジア政治・経済 主な出来事

【2014年3月10日～2014年3月16日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成26年3月19日

在グルジア大使館

主な動き

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼国連による人道支援(12日)

・12日、アブハジア「当局」は、アブハジアを訪れたスコット UNDP 連絡調整官がアंकワブ「大統領」と会談し、2014年に国連がアブハジアに対し1500万ドルの支援を行ない、更に、ドナー各国との交渉次第では支援が増額される可能性がある」と述べたと報じた。

・14日、ザルカリアニ外務次官とスコット UNDP 連絡調整官との会談が行われた。会談後、スコット調整官は、アブハジア側による誤まった報道に憤っているとして、国連のプログラムはグルジア政府を含む全ての当事者との密接な協力のもとで行なわれているとコメント。

▼ウクライナ情勢に対する反応

・11日、ヤツェニユク・ウクライナ首相がウクライナ国会で、「アブハジアでは組織犯罪が横行しており、人々の仕事もなければ安全もない。ロシアはもともと約束していた支援のごく一部しかアブハジアに与えておらず、そのわずかな支援も『政府』が盗んだ。クリミアを同じようにはしない」と発言したことに対し、12日、アブハジア「当局」は発言を非難する声明を発表。

・16日、クリミアで行われた住民投票に関し、アंकワブ「大統領」は、「アブハジアはクリミアの人々の意思を尊重し、彼らの決定を支持・承認する」と述べた。

【南オセチア】

▼クリミアで行われた住民投票に関する「南オセチア共和国外務省」の声明(16日)

・クリミアで行われた住民投票について、「南オセチア共和国外務省」は、「クリミアの住民が独自に自らの運命を決定する権利とその選択を尊重する」との声明を発表。

2. 外 政

▼ウクライナ情勢

・13日、トビリシ国立大学の学生との対話集会で、ガリバシヴィリ首相はウクライナ情勢に関し、「我々はウクライナ国民の選択を支持し、欧州的で民主的かつ文明的な国家を建設するという彼らの選択を尊重する。我々は国家主権のあらゆる侵害を非難する」、「私はいかに急進的な声明を出すかで誰とも競い合うつもりはない」と述べた。また、「ガ」首相は、ウクライナの事態を受けてさえ、グルジアが「建設的な政策」を追求していることを西側のパートナー諸国は高く評価していると述べた。

・フランス通信社のインタビューで、マルグヴェラシヴィリ大統領は、「2008年にロシアがグルジアに侵攻した際に国際社会が立ち上がれなかったことで、ロシアはいかなる代償を払わずともクリミアを手に入れることができると考えたのだ」「残念ながら、これまでの6年間で我々は、このような行動が間違っており、効果がないことをロシアに理解させることができなかった」と話した。

・16日、クリミアで住民投票が行われたことに関し、グルジア外務省は「ロシア軍の圧力下で、普遍的に認められた規範と国際法の原則に反し、ウクライナの国内法を完全に無視して実施された住民投票を承認しない」「ロシアによるクリミア併合の試みは、ロシアが結んだ多国間および二国間の合意に明白に違反する」との声明を発表。

▼アバシゼ対露関係首相特別代表とカラーシン露外務次官との会談が再び延期される(11日)

・もともと3月4日～5日に予定されていた会談は延期され、3月14日に行なわれることになっていたが、グルジア政府の発表によれば、両者は電話で再延期に合意し、「会談を数週間以内に行なう」ことを約束した。

▼ヴァシチェンコ・ベラルーシ緊急事態大臣がグルジアを訪問(11日～13日)

・チカイゼ内務大臣と会談し、グルジア内務省とベラルーシ緊急事態省の間の協力に関する文書に署名。

▼ツィンツァゼ駐日グルジア大使が天皇陛下に信任状を捧呈(12日)

・天皇陛下は、「ツィ」大使の日本でのこれまで経験が両国が友好的を深めるのに大いに役立つだろうと述べた。「ツィ」大使は二国間関係を積極的に発展させる意欲を表明した。捧呈式には太田国土交通大臣が出席した。

▼アラサニア国防大臣がイタリアを訪問(12日～13日)

・イタリア国防省でピノッティ伊国防大臣と会談。両国防大臣の初の公式会談。訓練および教育の分野での両国の軍事協力の見通し、グルジアの NATO 加盟および来たる NATO 首脳会談におけるメンバーシップ・アクションプラン (MAP) の付与などについて話し合われた。

▼グルジア国民に対しイスラエルが査証撤廃(13日)

・13日以降、旅行あるいは個人的な訪問でイスラエルを訪れるグルジア国民は、無査証で入国し、(180日の期間中) 90日まで滞在することができるようになった。

▼ルーマニア首相がグルジアを訪問(14日)

・ポンタ・ルーマニア首相はモルドバを訪問後にグルジアを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相、ウスパシヴィリ国会議長と会談した。

・「ガ」首相との会談では、ルーマニアはEU内でグルジアとモルドバの「最良の」支持者であり、ルーマニアはEUとの接近のプロセスの経験を共有すると述べた。

・首相とともにグルジアを訪問したコルラツェアン・ルーマニア外務大臣はパンジキゼ外務大臣と会談し、機密情報の相互保護にかんする両国政府間の合意に署名した。

▼マルグヴェラシヴィリ大統領がアフガニスタンのグルジア軍部隊を訪問(15日)

・グルジア軍部隊が駐留するヘルマンド州のキャンプ・レザーネック米軍基地を訪問した。訪問は事前に公表されていなかった。カパナゼ統合参謀総長、ゲゲチコリ国防次官、イメルリシヴィリ国家安全保障会議議長、センアシヴィリ国会国防・安全保障委員会委員長らが同行。

3. 内 政

▼公共放送局評議員の募集(11日)

・評議会の定員9名のうち、昨年12月と今年1月の2回の国会での投票で4名しか決定していない。残りの5名をめぐり、ウスパシヴィリ国会議長が3月26日を締め切りとして、再び募集を開始することを発表。

▼地方選での統一国民運動のトビリシ市長候補者が決定(12日)

・統一国民運動(UNM)は、3月1日に、ヴァシャゼ議員(元法務次官)とメリア・トビリシ市旧市街地区長の2人を対象とした党内投票により候補者を決定すると発表していたが、ヴァシャゼ議員が党内投票を辞退した。

・メリア氏は2012年まで法務省所管の国家執行局の局長を務めていた。昨年1月、カルトゥ銀行の関わる事件での権力濫用の容疑で起訴されたが、容疑を否定している。

▼文化・遺跡保護省がRMGに対してサクドリシ鉱山での金の採掘を許可(14日)

・文化・遺跡保護省はRMGに対し、サクドリシ鉱山での金の採掘を許可。同鉱山は2006年から2013年7月まで文化遺跡として採掘が禁じられていたが、その後資格を変更されている。

・マルギシヴィリ文化・遺跡保護次官は、同鉱山が世界最古の金鉱山の一つであるとの説は「作り話」であると主張。13日には、ガリバシヴィリ首相が学生からの質問に対し、同鉱山の採掘を止めることによる経済的な損失を強調していた。

・グルジアとドイツの考古学者の共同調査によれば、同鉱山の採掘は紀元前約3000年ごろにさかのぼり、世界最古の金鉱山の一つ。昨年、独考古学会会長が書簡で採掘を許可しないようグルジア政府に求めていた。

・2月に罷免されたミザンダリ元文化・遺跡保護次官は、同鉱山の開発の許可に反対していた。

▼検察がアハライア議員の起訴の許可を国会に要求(14日)

・「ア」議員は審理前勾留を受けているアハライア元国防

大臣の父親。サメグレロ・ゼモスヴァネティ地方の検察官であった2009年に権力濫用があったとして、検察は国会に対し、「ア」議員の刑事訴追に対する許可を求めた。法律上、検察が現職の国会議員を起訴する場合には国会の許可が必要であるとされているが、許可を決定する国会内の手続きは定められていない。ウスパシヴィリ国会議長は17日までに対応を決めると発表。

4. 経 済

▼グルジアとドイツが二重課税防止条約に署名(10日)

▼2013年の外国直接投資額(速報値)(11日)

・国家統計局が発表した速報値によれば、2013年の外国からの直接投資額は914百万ドルで前年比0.3%増。

・分野別の内訳はエネルギー22%、金融19%、交通・通信15%、製造業13%、建設6%、鉱業4%、農業3%。

・国別ではオランダ20%、ルクセンブルグ16%、中国11%、アゼルバイジャン10%、トルコ8%、米国6%、英国5%。

▼EUがグルジアの農業振興のために1500万ユーロを拠出(12日)

・農業振興のための近隣諸国プログラム(ENPARD)の枠内で、EUはOxfamなど4つのNGOと、グルジアにおける小規模な農業協同組合の発展を目的とした1500万ユーロの補助金に係る合意に署名した。グルジア国内の45地区に約160の農業協同組合が設立される計画。

▼クヴィリカシヴィリ経済・持続的発展大臣がスペインを訪問(12日)

・スペインの通商大臣との会談で、両国政府間の共同経済委員会の設置に関する文書に署名。スペインの産業・エネルギー・観光大臣との会談では、観光および再生エネルギーの分野での協力について議論し、観光分野に関する協力の覚書に署名を行なった。

▼ドイツがグルジアに対する1億2450万ユーロの支援を決定(12日)

・うち1億1500万ユーロが長期低利貸付。残り950万ユーロは補助金。クタイシの埋め立て施設の建設、西グルジアの新しい電力施設の建設、アジャラ自治共和国の村々の上下水道施設の改善などに充てられる予定。

▼イスラエル・グルジア・イノベーションフォーラム(12日-13日)

・イスラエル経済界とグルジアのパートナーシップファンドの支援により、通信分野・最新技術をテーマにトビリシで行なわれた。多数のイスラエル企業が参加。

・ガリバシヴィリ首相は開会の挨拶で、米国を含む8カ国との共通化されたシステム、EUとのDCFTA、CIS諸国およびトルコとのFTAにより、グルジアは投資家に9億ドルの市場を提供できると述べた。

▼2014年2月の工業製品生産者物価指数(14日)

・前月比+0.7%。前年同月比-0.2%。